

ハーグ条約締結5周年記念シンポジウム

『ハーグ条約と日本』

～子ども中心の国際家事手続に向けて～

日時：2019年6月10日（月）13:30－17:30

場所：東京大学 伊藤国際学術センター伊藤謝恩ホール
（文京区本郷7丁目3-1）

アクセス：<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/iirc/ja/access.html>

主催：外務省
参加費：無料
定員：300名
言語：日本語・英語（同時通訳あり）
申込方法：メール
（宛先：hagueconference@mofa.go.jp）

申込メールは以下のとおりご記入下さい。

件名：【申込】ハーグ条約締結5周年記念シンポジウム
本文：氏名，所属，役職，メールアドレス，電話番号

申込期限：2019年5月20日（月）

プログラム（予定）

13:00-13:30	受付
13:30-13:40	開会の辞 辻 清人 外務大臣政務官
13:40-15:20	第一セッション「日本におけるハーグ条約の実施と課題」 基調講演 「5年間のハーグ条約実施状況」 図師 執二 外務省領事局ハーグ条約室長 「日本におけるハーグ事案の裁判手続」（仮題） 澤村 智子 最高裁判所事務総局家庭局第一課長 「日米間のハーグ条約事案」（仮題） グレッグ・ガードナー 米国務省児童問題部東半球課長 パネルディスカッション「日本が直面する課題と対応策」 モデレーター 図師 執二 外務省領事局ハーグ条約室長 ディスカッサント 早川 眞一郎 専修大学法科大学院 教授 澤村 智子 最高裁判所事務総局家庭局第一課長 黒田 愛 久保井総合法律事務所 弁護士 グレッグ・ガードナー 米国務省児童問題部東半球課長

15:20-15:40	<p>休憩</p>
15:40-17:20	<p>第二セッション「今後進むべき道」</p> <p>基調講演</p> <p>「国際的な子の連れ去り：連れ去り・再統合が子に与える影響」</p> <p>マリリン・フリーマン 英国ウェストミンスター大学教授</p> <p>「国際家事調停の将来」</p> <p>メリッサ・クチンスキー</p> <p>MK FAMILY LAW, PLLC 弁護士・メディエーター（米国）</p> <hr/> <p>パネルディスカッション</p> <p>「アジアにおける子供中心の国際家事手続」</p> <p>モデレーター</p> <p>西谷 祐子 京都大学大学院法学研究科 教授</p> <p>ディスカッサント</p> <p>マリリン・フリーマン 英国ウェストミンスター大学教授</p> <p>メリッサ・クチンスキー</p> <p>MK FAMILY LAW, PLLC 弁護士・メディエーター</p> <p>磯谷 文明 くれたけ法律事務所 弁護士</p> <p>小田切 紀子 東京国際大学人間社会学部 教授</p>
17:20-17:30	<p>閉会の辞</p> <p>図師 執二 外務省領事局ハーグ条約室長</p>